

経営比較分析表

岡山県 鏡野町

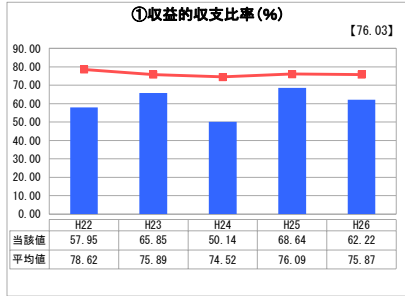
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	25.83	4,000

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,773	419.68	32.82
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,550	22.86	155.29

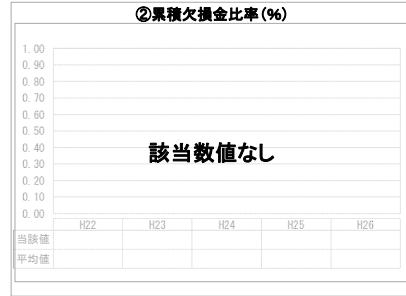
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

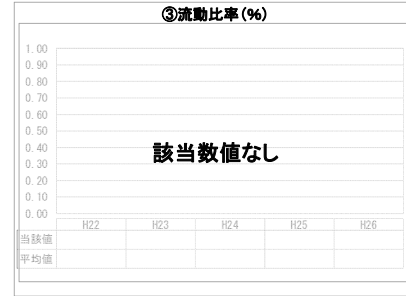
1. 経営の健全性・効率性



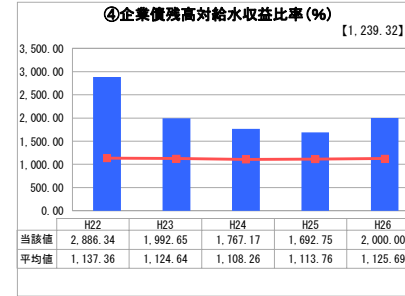
「単年度の収支」



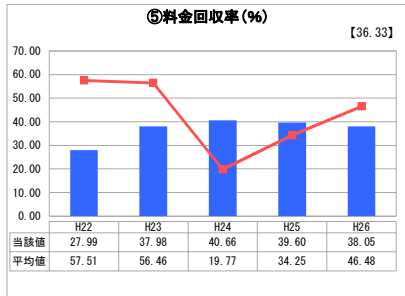
「累積欠損」



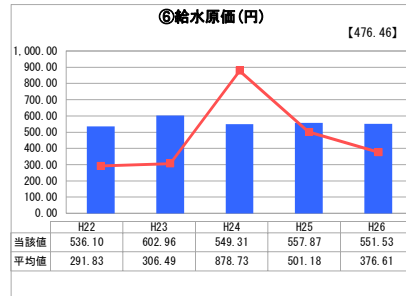
「支払能力」



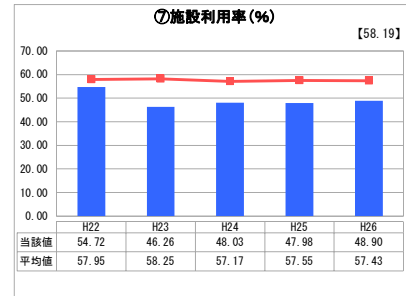
「債務残高」



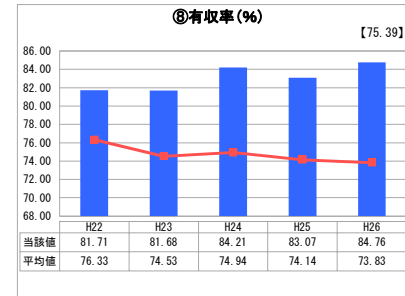
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

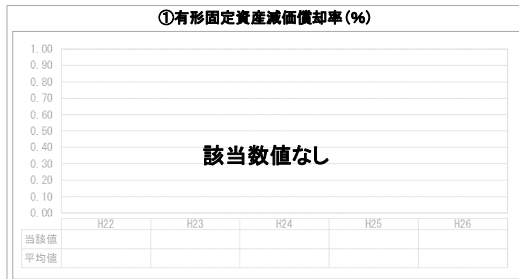


「施設の効率性」

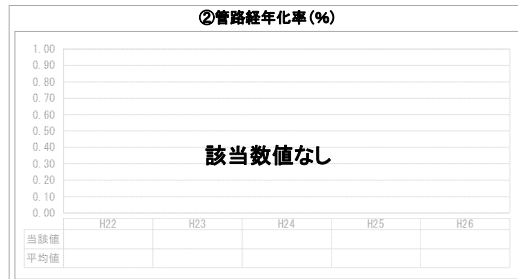


「供給した配水量の効率性」

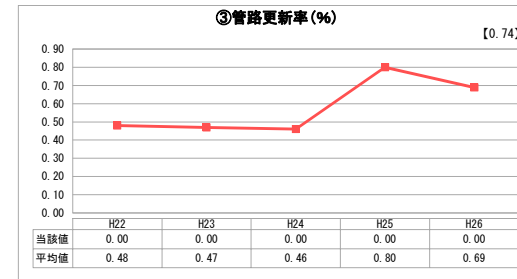
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町の簡易水道事業は、鏡野地区に3事業、奥津・上齋原・宮地区に其々1事業の計6事業がありますが、これは簡易水道の地方債償還金のうち元金分への繰入金は収益的収入に入らないためです。資金不足によるものではありませんが、料金回収率から分かるように、施設維持管理に係る経費のうち半分程度しか料金収入で賄えていない状況となっています。

まず、収益的収支比率が100%を下回っていますが、これは簡易水道の地方債償還金のうち元金分への繰入金は収益的収入に入らないためです。資金不足によるものではありませんが、料金回収率から分かるように、施設維持管理に係る経費のうち半分程度しか料金収入で賄えていない状況となっています。

また、有収率は全国平均を上回っていますが、人口減少等から施設利用率は全国平均を下回っており料金収入の増額には結びついていないため、修繕費や維持管理費の経費節減を図り、バランスのとれた投資を計画的に実施すべきと考えています。給水原価が全国平均を上回っていることや、料金回収率が全国平均を下回っていることから、このことがいえます。

企業債残高対給水収益比率が、全国平均を大きく上回っていますが、これは、人口減少等から料金収入が減額となっていることと、水道施設再編整備事業により新たに起債を借入れたことにより地方債残高が増えたためです。

2. 老朽化の状況について

本町の簡易水道施設は、最も古いもので昭和60年度に更新した管路となっており比較的新しい施設となっています。

また、水道施設再編整備事業により新設した管路・施設も多くあり耐震化への対応も進んでいます。

今後は、新設していない古い管路の更新を計画的に進めていくべきと考えています。

全体総括

簡易水道事業は、施設が各地域に点在し給水人口も少ないことから、データをもて分かるように経営状況は厳しいものとなっています。

この中、平成28年度末に国が示しています、上水道事業(企業会計)との統合を実施し、より一層の経費節減を目指したいと考えています。

しかし、企業債残高対給水収益比率が高いことから、何らかの対策が必要となっています。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。